

南相馬市の教育に関するアンケート調査結果

調査概要

1 調査目的

本調査は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく教育行政の点検評価の基礎調査とするともに、南相馬市教育振興基本計画の進行管理に活用することを目的として実施した。

2 調査対象

(1) 小学生中学生	781人(小学5年生364人・中学2年生417人)
(2) 上記保護者	781人
(3) 未就学児保護者	1,640人(0から6歳児を持つ保護者)
(4) 一般市民	1,500人(無作為抽出)
合計	4,702人

3 実施期間

(1) 小学生中学生	平成29年	5月30日～6月	2日
(2) 上記保護者	平成29年	5月30日～6月	9日
(3) 未就学児保護者	平成29年	6月	5日～6月20日
(4) 一般市民	平成29年	6月	5日～6月20日

4 調査の実施方法

- (1) 小学生中学生
各学校で調査票を記入し、学校毎に回収した。
- (2) 上記保護者
各学校を經由して、配布・回収した。
- (3) 未就学児保護者及び一般市民
郵送により配布・回収した。

5 回収結果

区分	対象者数	有効回収数	有効回収率
小学生中学生	781	752	96.3
上記保護者	781	681	87.2
未就学児保護者	1,640	731	44.6
一般市民	1,500	502	33.5
計	4,702	2,666	56.7

(単位：人、%)

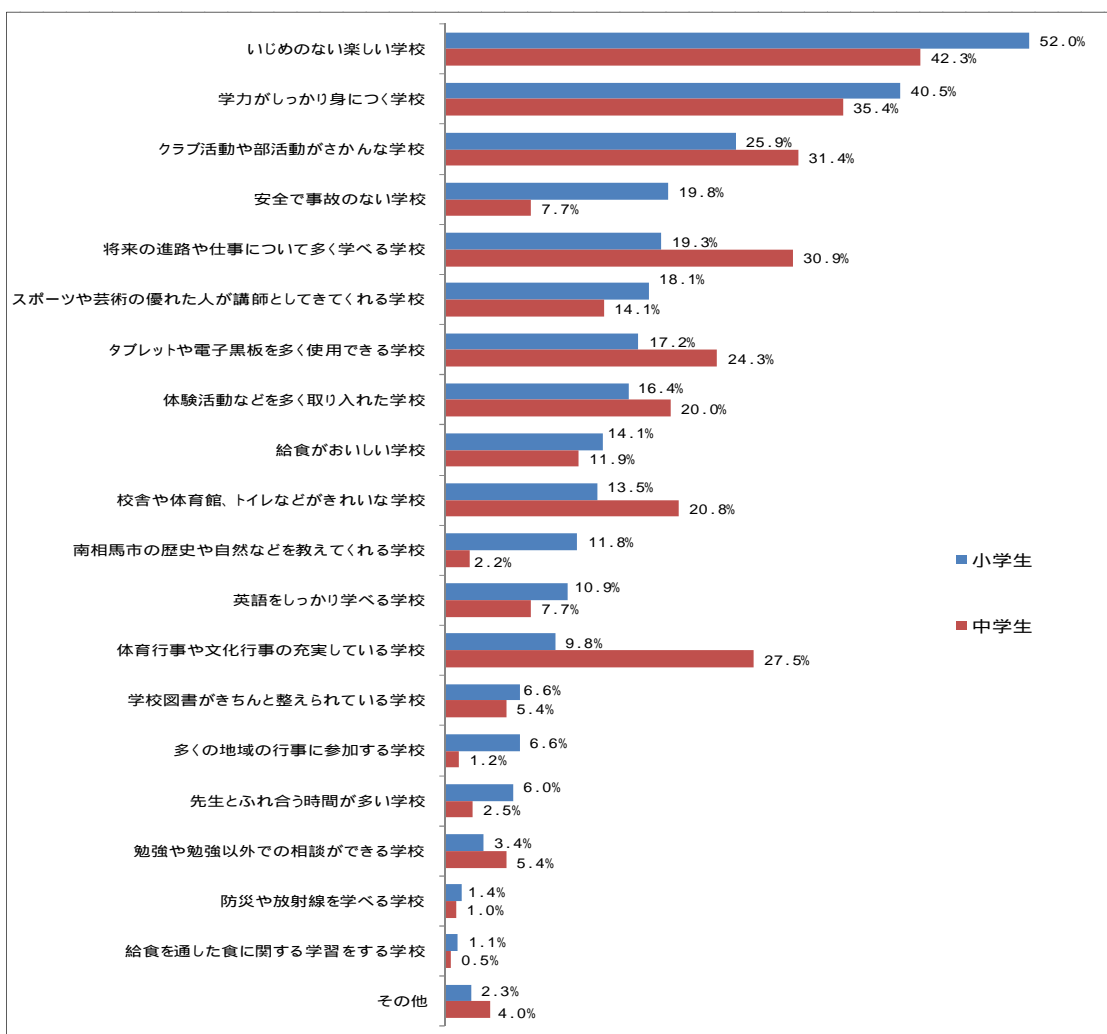
6 調査項目

区分	項目	児童生徒	児童生徒保護者	未就学児保護者	一般市民
属性	学校名				
	年齢				
	学年				
	性別				
	居住地区				
	子供の在籍校				
	子供の種別				
	子供の人数				
内容	行きたくなる学校				
	将来の夢や目標				
	南相馬市の「自慢できること」「好きなところ」				
	市教育行政の評価				
	今後重要となる教育施策				
	今後重要となる子育て施策				
	幼稚園保育園に期待すること				
	小中学校に期待すること				
	小学校の1学級あたりの児童数				
	小学校の学級人数を決めるもあたり重要なこと				
	小学校の学校規模を決めるもあたり重要なこと				
	小学校の望ましい通学時間				
	小学校の通学距離				
	中学校の1学級あたりの児童数				
	中学校の学級人数を決めるもあたり重要なこと				
	中学校の学校規模を決めるもあたり重要なこと				
中学校の望ましい通学時間					
中学校の通学距離					

調査結果

【小学生・中学生への質問】

Q1 行きたい学校とは、どんな学校ですか（3つまで選択）



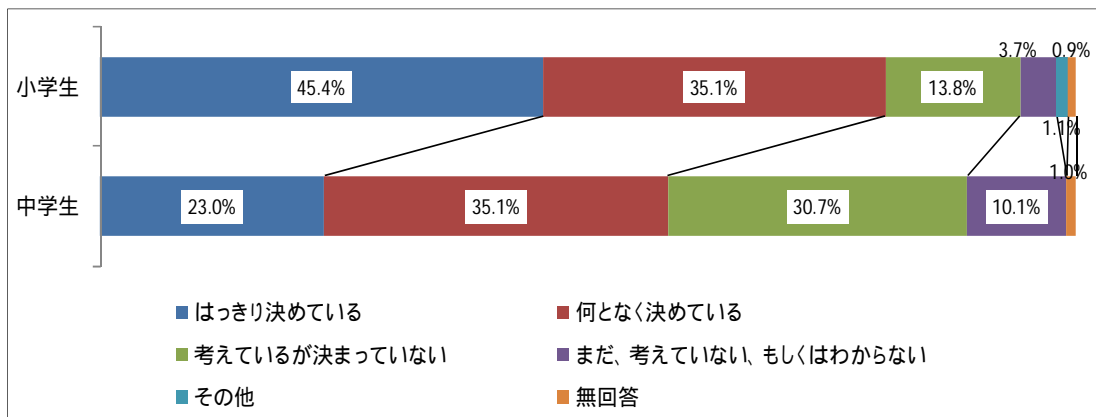
小中学生とも「いじめのない楽しい学校」（小学生 52.0%、中学生 42.3%）の回答が最も多く、次いで「学力がしっかり身につく学校」（同 40.5%、同 35.4%）、次いで「クラブ活動や部活動がさかんな学校」（同 25.9%、同 31.4%）が多くなっている。

以下、小学生では「安全で事故のない学校」（19.8%）、「将来の進路や仕事について多く学べる学校」（19.3%）の順となっている。中学生では「将来の進路や仕事について多く学べる学校」（30.9%）、「体育行事や文化行事の充実している学校」（27.5%）の順となっている。

また、小学生では「安全で事故のない学校」が 12.1 ポイント、「いじめのない楽しい学校」が 9.7 ポイント、それぞれ中学生を上回っている。一方、中学生では「体育行事や文化行事の充実している学校」が 17.7 ポイント、「将来の進路や仕事について多く学べる学校」が 11.6 ポイント、それぞれ小学生を上回っている。

【小学生・中学生への質問】

Q2 将来の夢や目標を決めていますか（1つ選択）

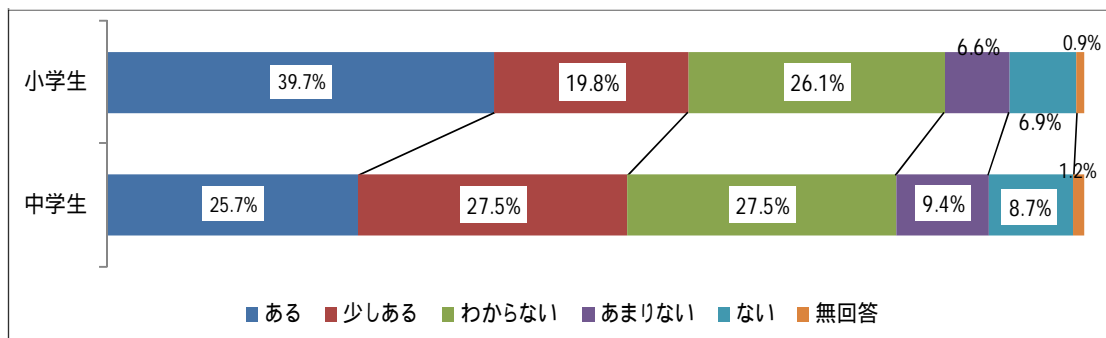


「はっきり決めている」と「何となく決めている」を合わせた割合は、小学生で 80.5%、中学生で 58.1%を占めており、小学生が中学生の割合を 22.4 ポイント上回っている。

このうち、小学生では「はっきり決めている」が 45.4%を占めているに対して、中学生では 23.0%と小学生の約半分の比率となっている。

一方、「考えているがまだ決まっていない」「まだ、考えていない、もしくはわからない」を合わせた割合は、小学生 17.5%に対し、中学生が 40.8%であり、中学生が 23.3 ポイント高くなっている。

Q3 南相馬市の「自慢できるところ」や「好きなところ」はありますか（1つ選択）



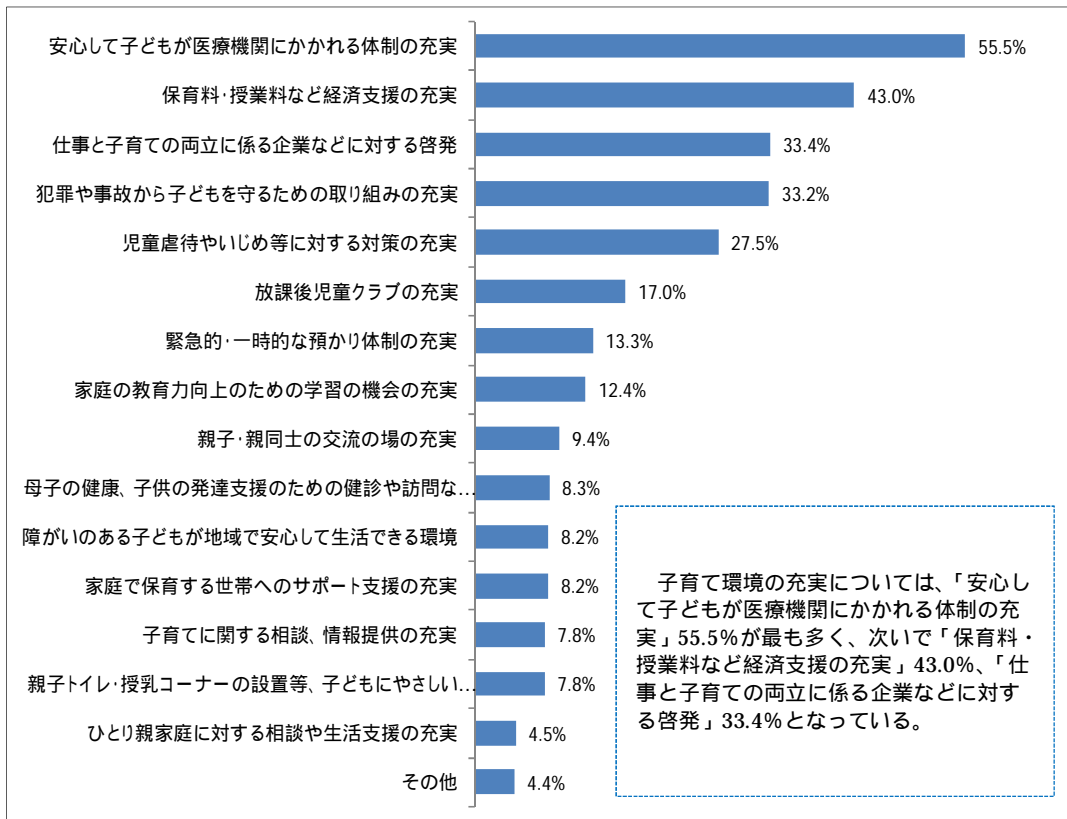
南相馬市で「自慢できるところ」や「好きなところ」について、「ある」と「少しある」を合わせた割合は、小学生で 59.5%、中学生で 53.2%を占めており、小学生が中学生を 6.3 ポイント上回っている。このうち、小学生では「ある」が 39.7%を占めているのに対して、中学生では 25.7%と 14 ポイント低くなっている。

南相馬市で「自慢できるところ」や「好きなところ」の自由記載

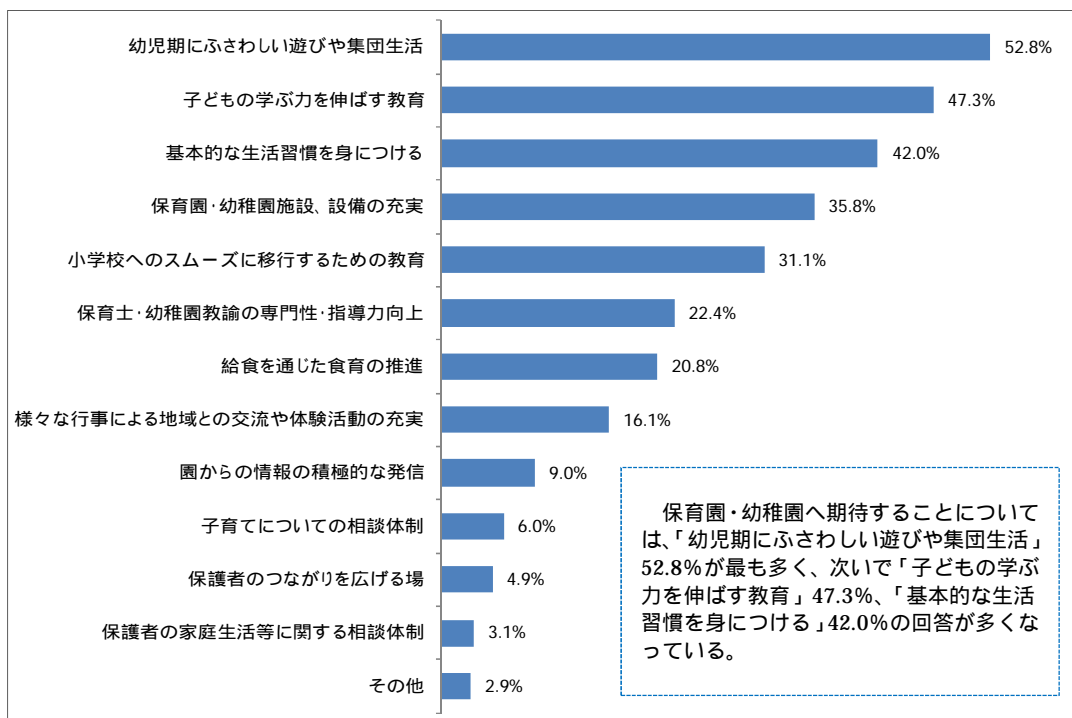
項目	件数	記入内容（一部抜粋）
相馬野馬追	176	毎年やっている野馬追が迫力がある所。
		野馬追があって、馬が走ったりするのが好きだから
		相馬野馬追が盛大に行われる。
		昔からの伝統で、野馬追があること。
		他の県にない祭りがある、野馬追など。
		野馬追神旗争奪戦。
		伝統的な行事である「相馬野馬追」が続いていること。 野馬追などいろんなことを自慢したいし、大人になってもここにもどってきたいです。
自然が豊か	100	自然が豊かなところ。
		田や畑や山などたくさんの自然がひろがっているところ。
		田舎だから自然が多いところ。
		緑がある。
		海がすごくきれいなところが自慢できる 自然が多い。星がきれい。
人柄 (やさしい等)	67	南相馬市の人はやさしいところ
		みんなあいさつをしてくれるしやさしいから。
		とっても親しみやすい人が多い。
		やさしい人が多い。 人としていい人などがいるところ。
特産物	34	アイスまんじゅう。しみてん。
		おいしい食べ物がたくさん。（しみ天など。）
		凍み天やアイス饅頭などの美味しい特産物がかなりあるから。 大ぼり相馬焼。
住みやすさ	29	静かなところが好き。
		空気がきれい。
		都会と違って静かで他の人とも交流が出来る。 人ごみになることが少ない。夏になったらすぐに海行ける。田舎で静か。
施設	14	高見公園
		セデッテ鹿島。
		近くに博物館があって、歴史や文化が学べること。 大きくてキレイな市立図書館がある。
学校	13	校舎と校庭が大きくて、みんなが元気でいい。
		南相馬市が電子黒板も使っている。 給食がとてもおいしい。いじめがとても少ない小学校。
文化財・歴史	11	天然記念物の車輪梅がある。
		伝統の祭りがあるところ 古墳や化石など、昔についてのものがたくさんあることです。
その他	29	明るい、いい町
		地域などで教う活動などがある。
		色々なスポーツクラブチームがあるところ。
		復興のために頑張っているところが好きです みんなと仲良くしている。
		南相馬市の歌。 野馬追の里マラソン。

【未就学児の保護者への質問】

Q 4 今後、子育て環境の充実のため、何が重要だと思いますか（3つまで選択）

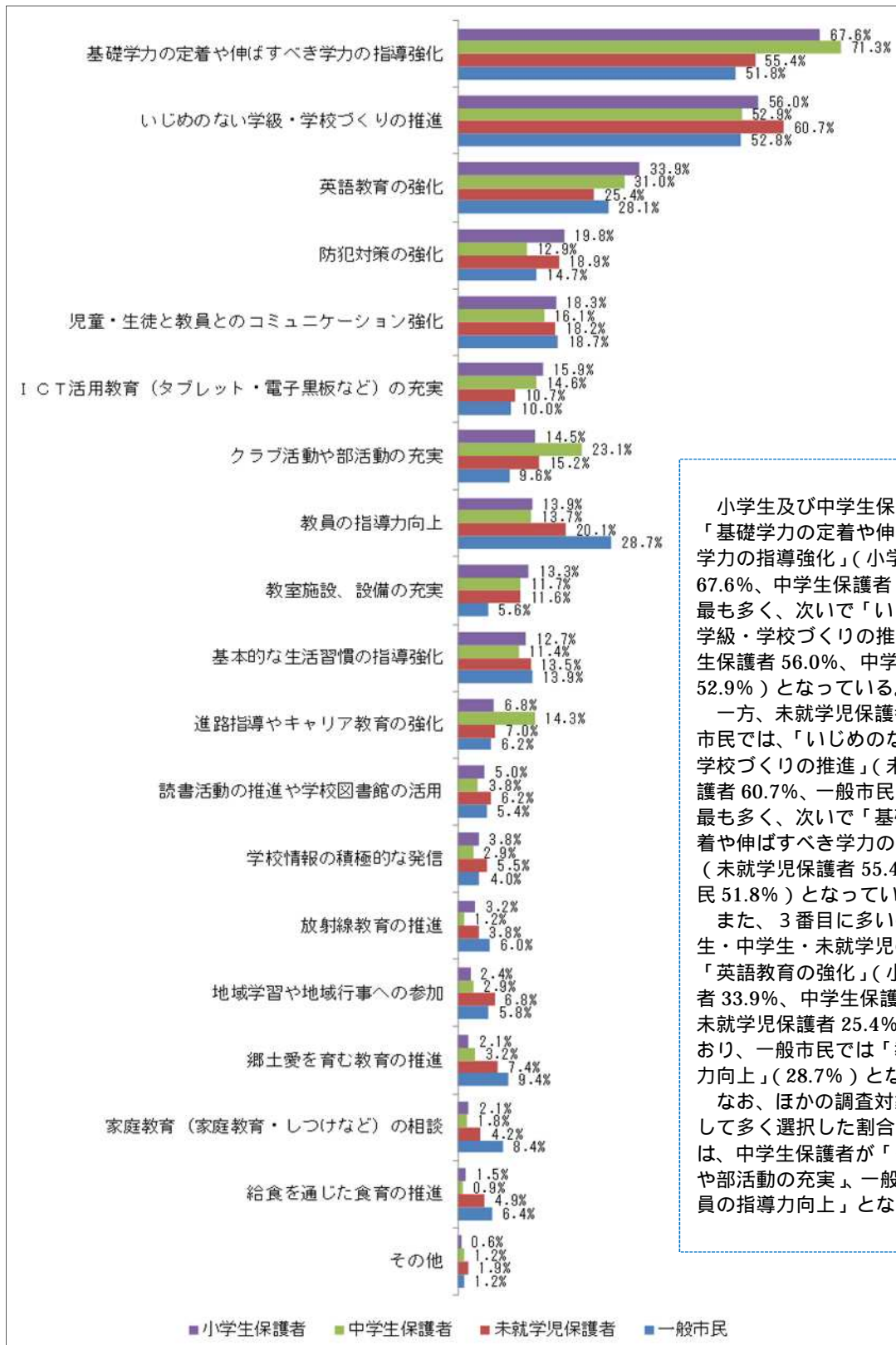


Q 5 本市の保育園・幼稚園にどのようなことを期待しますか（3つまで選択）



【小学生・中学生・未就学児の保護者及び一般市民への質問】

Q 6 本市の小中学校にどのようなことを期待しますか（3つまで選択）



小学生及び中学生保護者では「基礎学力の定着や伸ばすべき学力の指導強化」（小学生保護者 67.6%、中学生保護者 71.3%）が最も多く、次いで「いじめのない学級・学校づくりの推進」（小学生保護者 56.0%、中学生保護者 52.9%）となっている。

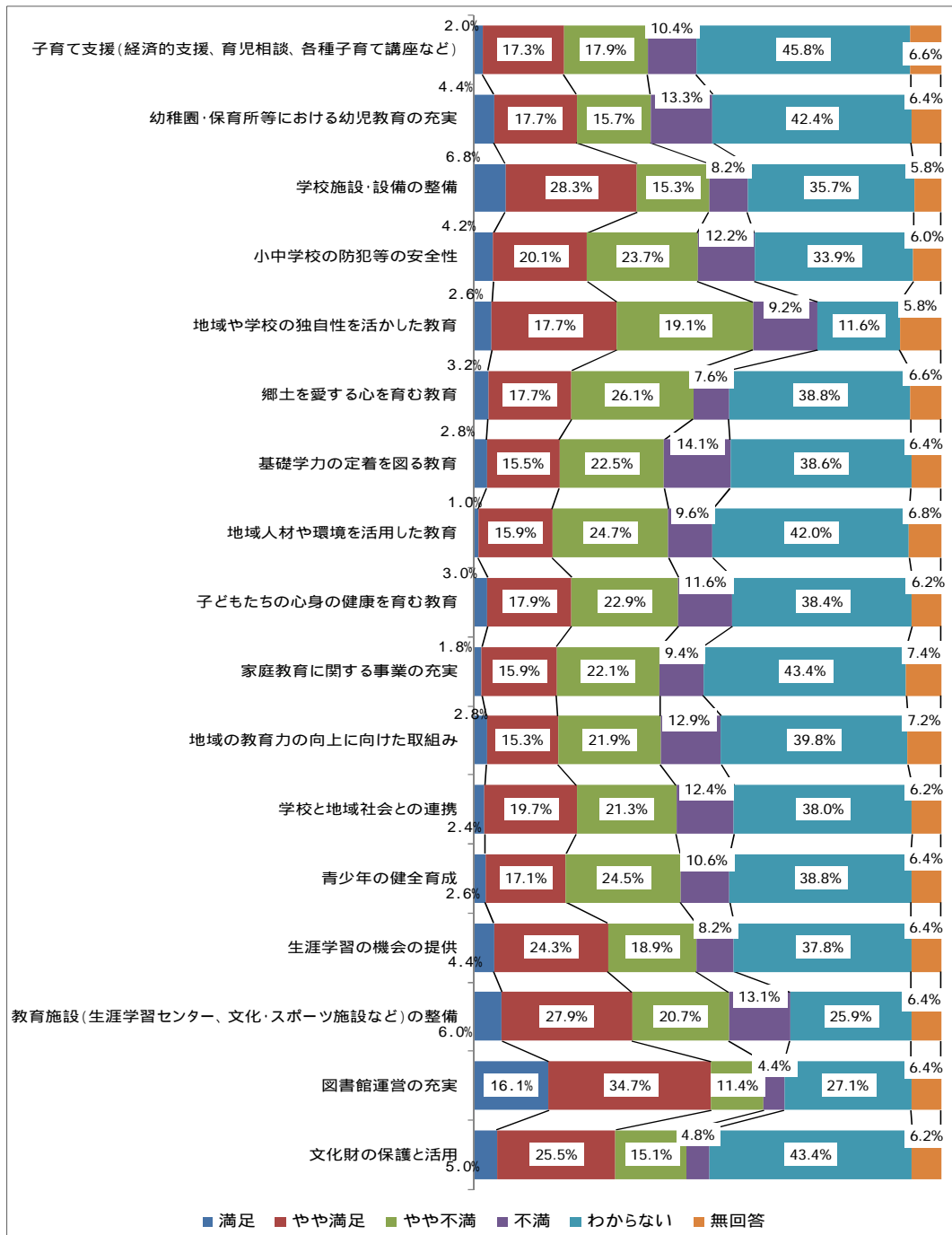
一方、未就学児保護者及び一般市民では、「いじめのない学級・学校づくりの推進」（未就学児保護者 60.7%、一般市民 52.8%）が最も多く、次いで「基礎学力の定着や伸ばすべき学力の指導強化」（未就学児保護者 55.4%、一般市民 51.8%）となっている。

また、3番目に多いのが、小学生・中学生・未就学児の保護者が「英語教育の強化」（小学生保護者 33.9%、中学生保護者 31.0%、未就学児保護者 25.4%）となっており、一般市民では「教員の指導力向上」（28.7%）となっている。

なお、ほかの調査対象者と比較して多く選択した割合が高いのは、中学生保護者が「クラブ活動や部活動の充実」、一般市民が「教員の指導力向上」となっている。

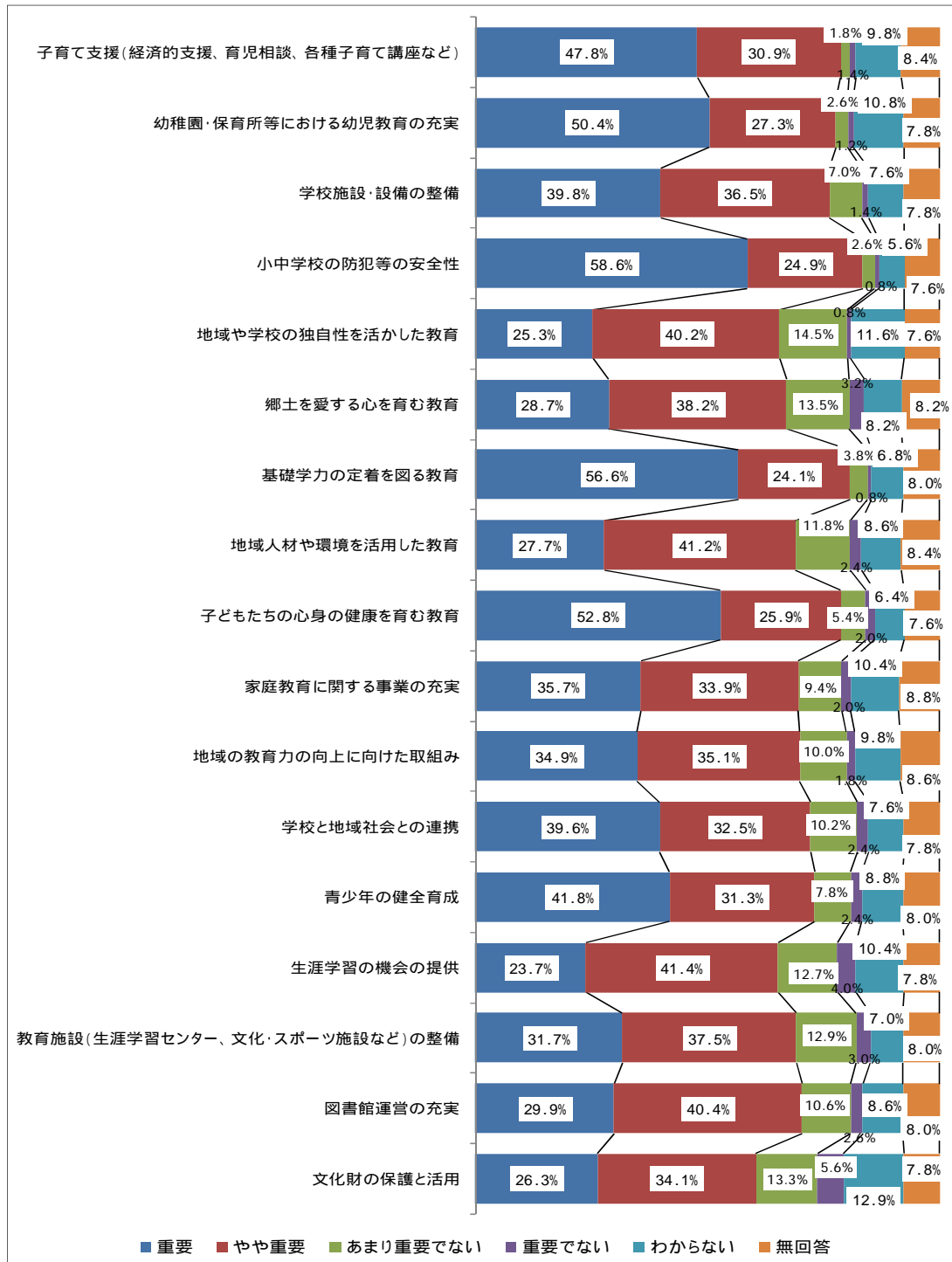
【一般市民への質問】

Q7 本市の教育についてどのように評価していますか（1つ選択）



「満足」「やや満足」の合わせた割合が最も高いのが「図書館運営の充実」50.8%、次いで「学校施設・設備の整備」35.1%、「教育施設（生涯学習センター、文化・スポーツ施設など）の整備」33.9%と続いている。一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合が最も高いのが「基礎学力の定着を図る教育」36.6%、次いで「小中学校の防犯等の安全性」35.9%、「青少年の健全育成」35.1%と続いている。

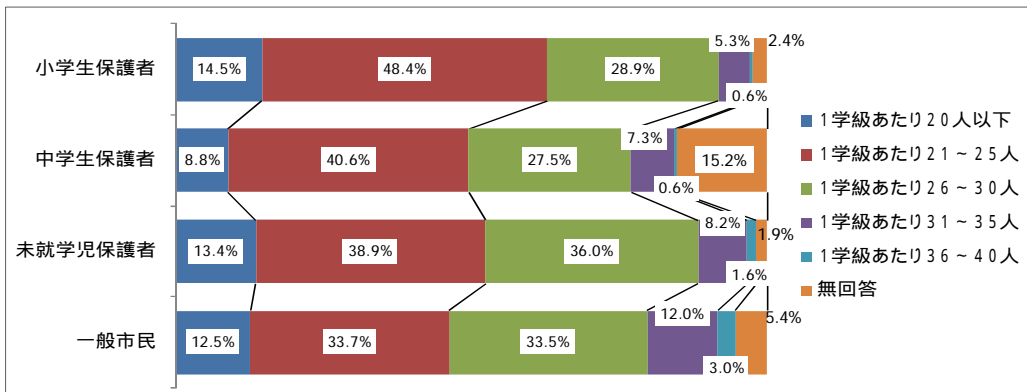
Q 8 本市の教育について、今後重要と思うものは何ですか（1つ選択）



今後重要と思うものについては、「重要」「やや重要」の合わせた割合が最も高いのが「小中学校の防犯等の安全性」83.5%、次いで「基礎学力の定着を図る教育」80.7%、「子どもたちの心身の健康を育む教育」78.7%、「子育て支援(経済的支援、育児相談、各種子育て講座など)78.7%と続いている。

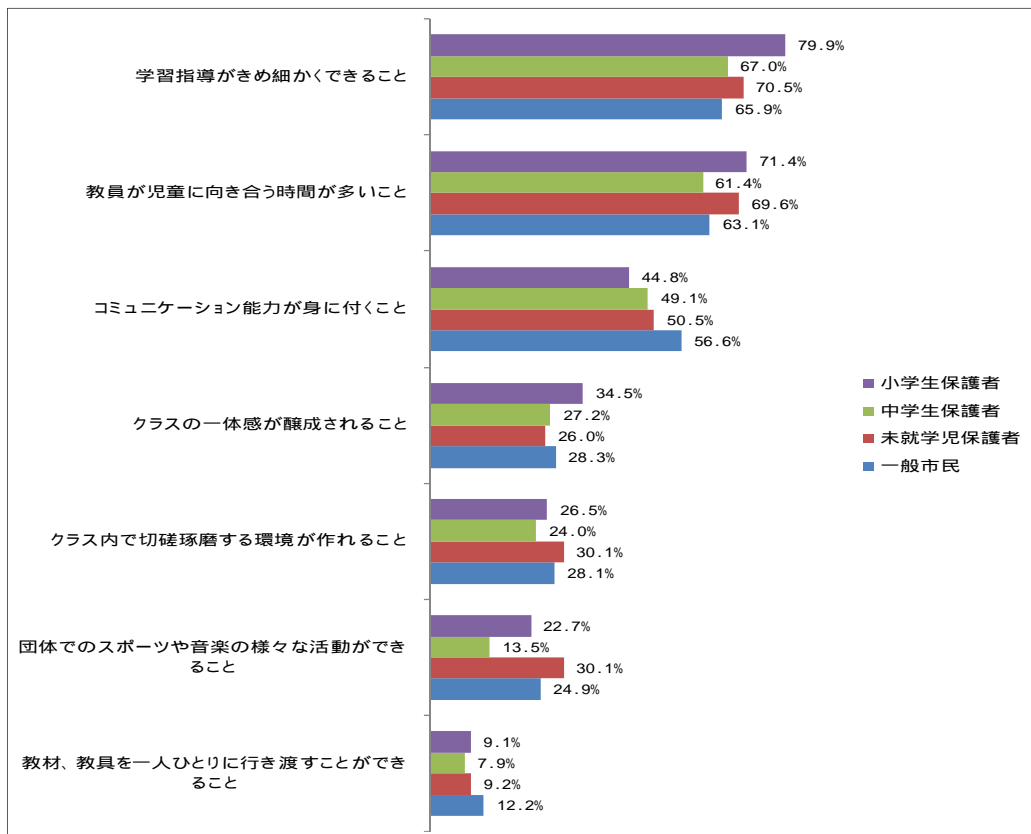
【小学生・中学生・未就学児の保護者及び一般市民への質問】

Q 9 小学校の1学級あたりの児童数は、何人が望ましいと思いますか（1つ選択）



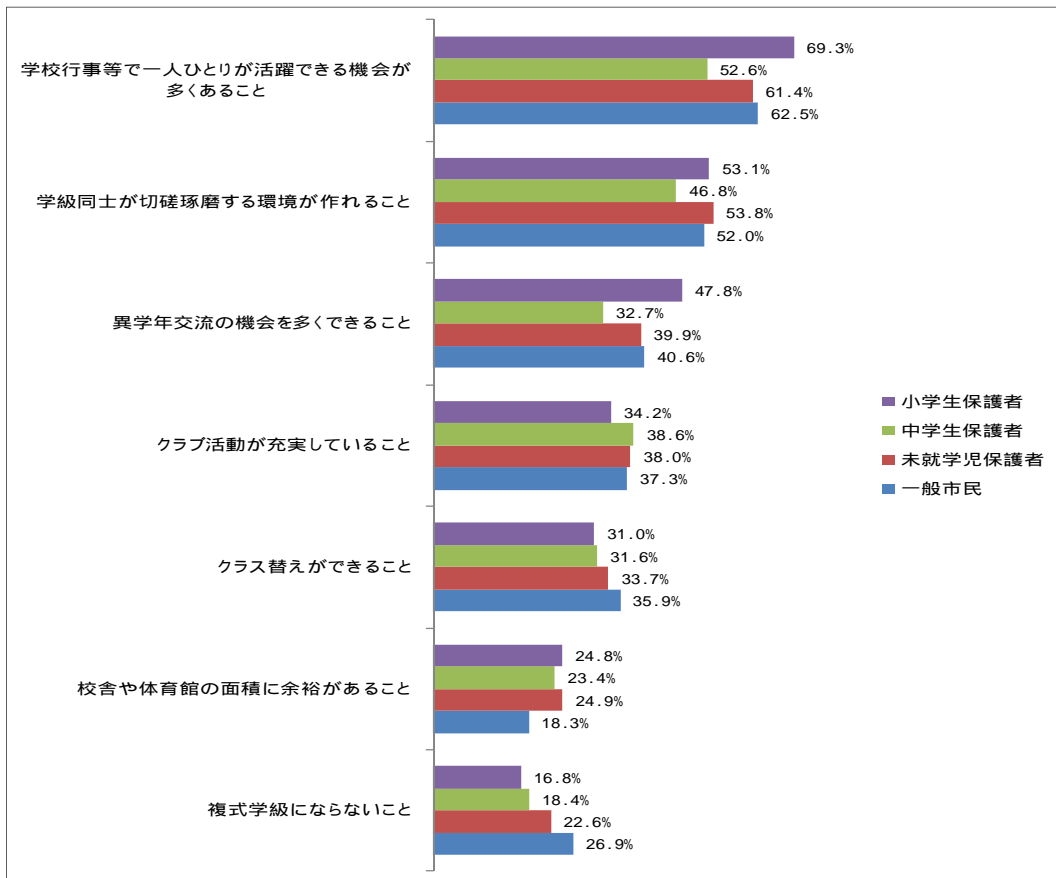
小学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全ての調査対象で「1学級あたり21～25人」が最も多い回答になっている。また、未就学児保護者及び一般市民は、「1学級あたり26～30人」の回答も多い。

Q 10 小学校の学級人数を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）



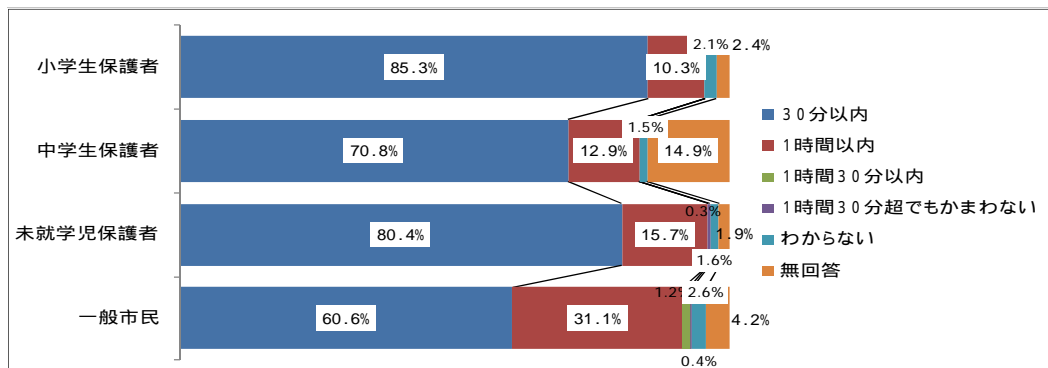
小学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、全ての調査対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身に付くこと」の順で回答が多くなっている。

Q 1 1 小学校の学校規模を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）



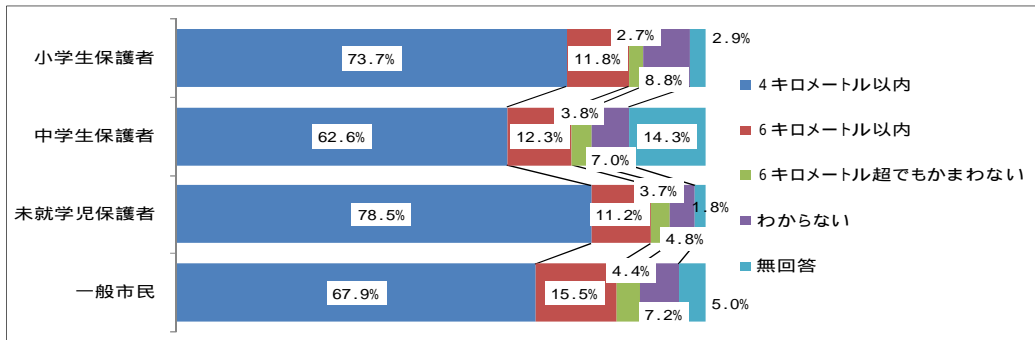
小学校の規模を決めるにあたり重要なことについては、全ての調査対象で「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」の順で回答が多くなっている。一般市民は、「クラス替えができること」「複式学級にならないこと」の回答が他の調査対象より多くなっている。

Q 1 2 小学校までの通学時間は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）



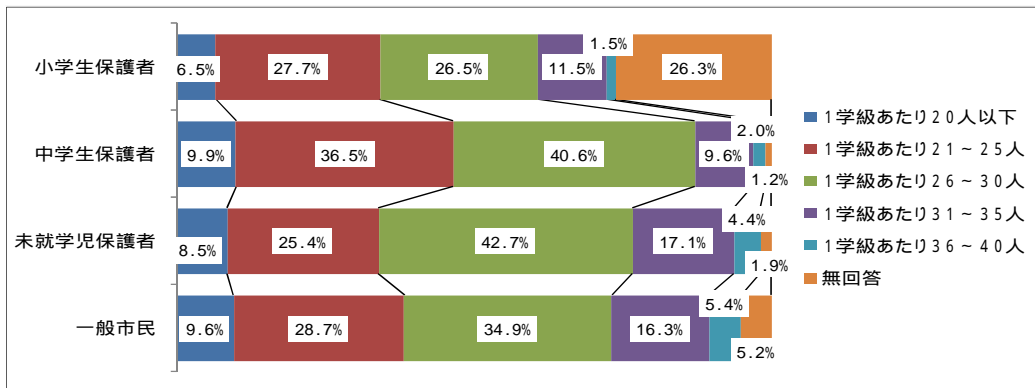
小学校までの望ましい通学時間については、全ての調査対象で「30分以内」の回答が多くなっている。次いで「1時間以内」の回答が多く、特に一般市民が顕著である。

Q13 小学校までの通学距離は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）



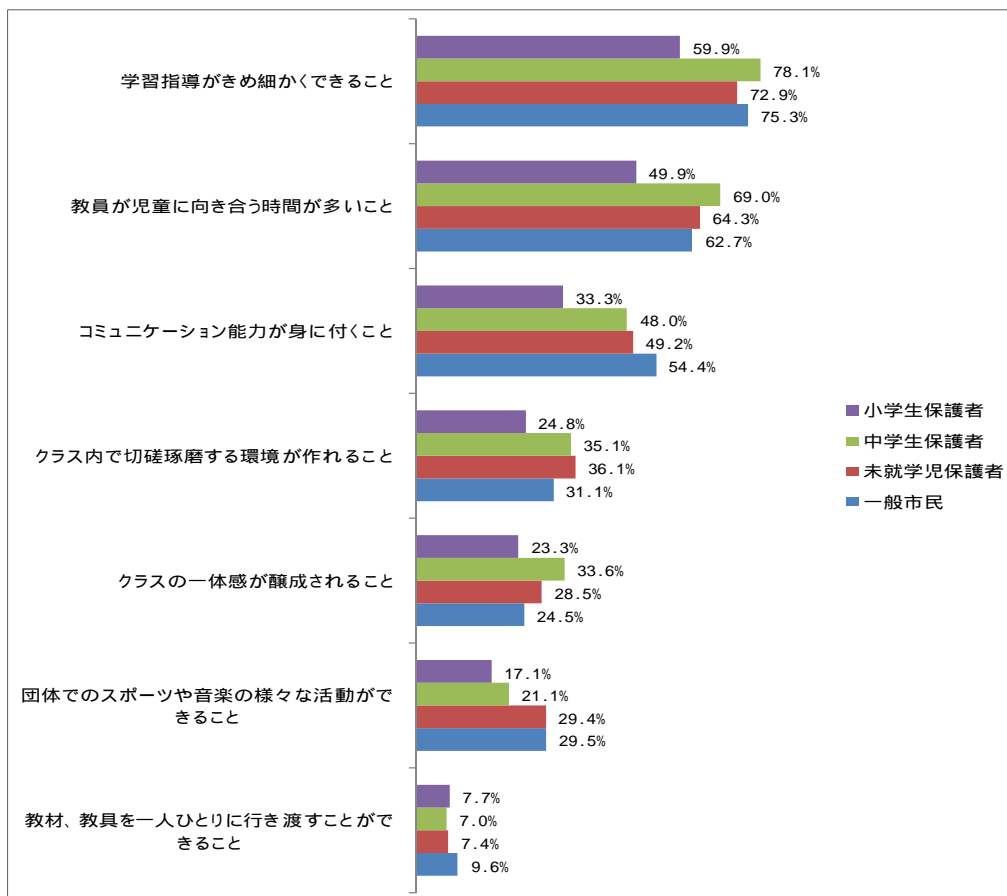
小学校までの通学距離については、全ての調査対象で「4キロメートル以内」の回答が最も多くなっている。

Q14 中学校の1学級あたりの生徒数は、何人が望ましいと思いますか（1つ選択）



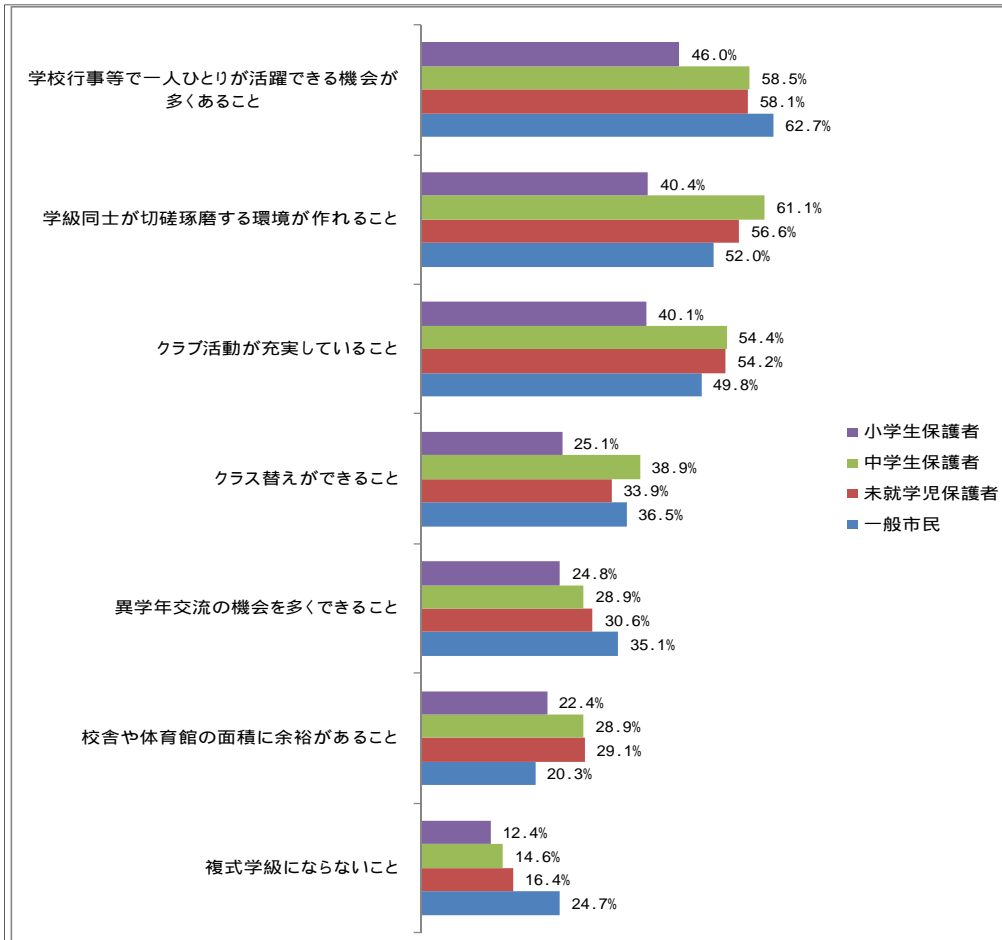
中学校の1学級あたりの生徒数については、中学生保護者・未就学児保護者・一般市民が「1学級あたり26～30人」と回答が最も多く、小学生保護者は「1学級あたり21～25人」の回答が多くなっている。

Q15 中学校の学級人数を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）



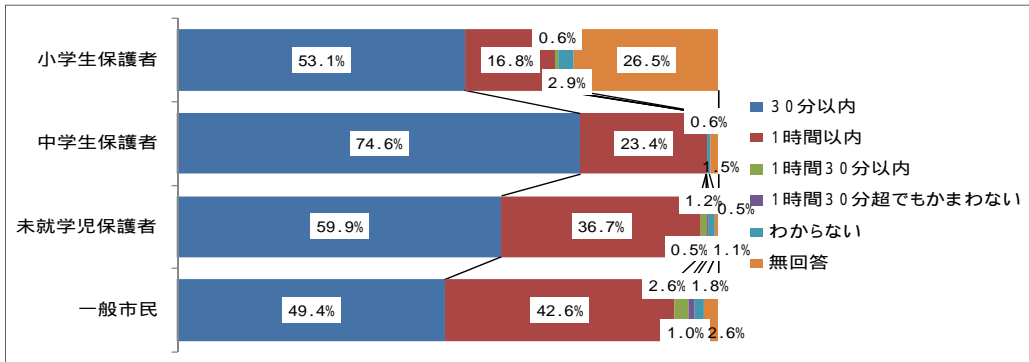
中学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、全ての調査対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身につくこと」の順で回答が多くなっている。

Q16 中学校の学校規模を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）



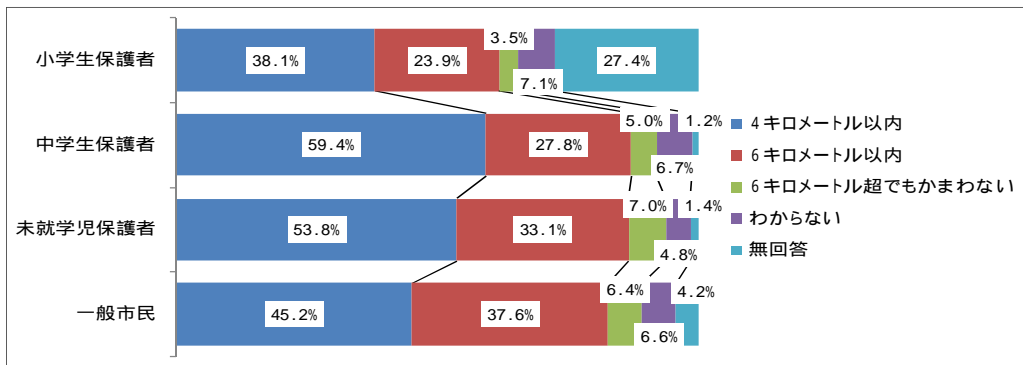
中学校の学校規模を決めるにあたり重要なことについては、小学生保護者・未就学児保護者・一般市民が「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」を最も多く回答している一方、中学生保護者は「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」と最も多く回答している。

Q17 中学校までの通学時間は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）



中学校までの望ましい通学時間については、全ての調査対象で「30分以内」の回答が最も多くなっている。次いで、「1時間以内」の回答が多く、特に一般市民・未就学児保護者が顕著である。

Q18 中学校までの通学距離は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）



中学校までの通学距離については、全ての調査対象で「4キロメートル以内」の回答が最も多く、次いで「6キロメートル以内」となっている。